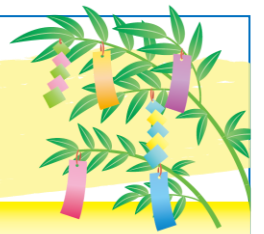


タイピックだより

7月号

2016.6.20 発行

Vol.43



七月になると、いよいよ夏も本番。朝晩に気温が下がることも少なくなり、特に暑くなる。日中には、冷房や扇風機をつけたくなります。中には、冷房が苦手であちわや扇子で過ごしているという人もいます。ではないでしょうか。うちは古代中国やエジプトの壁画にも描かれ、日本でも弥生時代、古墳時代、そして江戸時代

末期に逆輸入され、絹を貼った「絹扇」が生まれ、再度海外への輸出品となったのだそうです。

日本と世界の繋がりは、とても古くから、そして身近なところにもあるものですね。扇を束ねる末端にある楔を、要といいます。扇は、この要だけで留められており、これがはずれてしまえば、バラバラになってしまう。普段は目を向けられることはありませんが、要は、扇の一番大事な箇所です。

目立たないところが一番大事。会社や家庭にもあるかと思えます。目立たないところにも、力を注いでいきたいものですね。



なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに



無料お試し実施中！

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。
ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。
ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。

お水の宅配始めました

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

社長の つぶやき



札幌で五十業種の事業で多角化経営をされているヤマチユナイテッドグループの山地章夫代表の出版記念講演会が昨年十月末に東京で開催され参加したときに、山地代表が「ほめ達二級」を取得されていると聞き、何それ面白そう、あの人が学んでいるのなら真似をしよう」と「ほめ達二級」取得を目指した。

ほめ達とは一般社団法人日本ほめ達人協会が主催する検定試験で、二〇一一年より「ほめる」「認める」との効果に注目し、「ほめる」実践者を増やすほめ達検定を実施。五年間で二万人以上の方が受験されている。

さあ、受講して検定試験の合格を目指そうと五月のある日曜日に福岡の会場に到着しました。会場には二二〇名の受講者がおられ、老若男女いろいろだれて受講席につきました。お金を出してまで学ぼうとする人がこんなにいるのかと驚嘆でした。

講習のなかで重要なのは「ほいこ」ですが「ほいこ」の二、三、女性の場合は「ほいこ」を加えて四が大切で、この言葉を言ってみよう。人の話を聞く時は

うなずいて、笑顔で聞いて下さい。そして『でも』『だって』『どうせ』を絶対に言わないように教わった。

講習を受けて、検定。その「ほめ達一」検定の一問目が「自分が言われて嬉しいほめ言葉を五分間で多く書いて下さい。」何個書けましたか「私は九個しか書けなかったのですが、最高の方は六二個で驚きました。なるほど、平素から人の良いところを誉める言葉を多用していないから自分をも褒められないのだと悟ったのです。

見事に「ほめ達二級」試験合格。しかも認定書授与ではトップでの呼び出しを受け、自分勝手な感動。帰る時に「ほめる達人協会西村貴好理事長の著書 心をひらく『ほめグセ』の魔法」を購入してサインを戴きましたが、この本には「ほめ達」のほめ方は、おだてたり、耳ざわりよいことを言ったりするのがメインでありません。目の前の「スモノ出来事」の価値を発見して伝えること。です。相手の細かいところまで見て、相手を本当に知り、時には相手自身さえ気づいていない価値に気づき、その素晴らしいさを伝えること。です。

帰ってから「ほめ言葉一〇二個を毎朝朗唱し、この本を四度読み、今は同志社大学大田肇教授の著書、ほめる「認める」で部下や社員のモチベーションが上がる

承認とモチベーション」を読んでいる。



関を越える

村上 貴志

今回、致知を読んで、今までに大小問わず関があった時にどのようにして越えて来たか考える事が出来たと思います。今までの人生の中でも、関があり、仕事でも、関があり、色々あったときに振り返って考えてみると、それは、人との出会いや支え、言葉ではなかったかと感じました。福島さんも、全盲聲になつて不安になつていたときに関を越えるキッカケになったのが人であり、言葉だと書いていました。その関を越えた時に人間としての成長があるのだと思います。越えた時に広がる新しい世界、またやつてくる関とその繰り返しがあり、人として人生が開けたり、自分自身を高い位置まで成長させてくれたりすると思います。

あとは、人との出会いや言葉だけではなく、それをどう行動に移していくかが必要だと感じました。自分も、人生や仕事においても、多くの関を越えていくと思います。その時に越えられるように、人との出会いや言葉から越えるヒントをもらいながら、行動に移していくようにしていきたいです。

いかなる時も目の前の人、仕事に魂を込める者が勝つ 大庭 幸絵

旦那さんを亡くし、二人のお子さんを自分で育てようと決意され、実際に保険セールスという仕事を選んだ船津さんは、とても強い女性だと思いました。生まれ故郷の香川から長崎、そして東京へと、知らない場所での仕事を選べるのが、私には出来ないことだと思いました。その積極性の違いは仕事や生活にも出るのだと思います。

船津さんがお得意様から、嫌なことほど先に手をつける」と教えてもらったと書いてありました。私もその言葉を実践していけば、今より積極的な行動になると気づかれました。

契約が取れない時の船津さんが、その焦りの中で、自分の顔に気づけたように、悪いことにとらわれた時に、一呼吸、落ち着いて、困難なことも乗り越える力をつけたいと思いました。

新入社員紹介



〇A事業部 システム課

豊田 貴紀

五月に入社いたしました豊田貴紀と申します。益田市出身、2月20日生まれの24歳です。

趣味は、イラストを描くこと、海釣りです。保育園のころから絵を描くことが好きで、しょっちゅう備品に落書きをして怒られたという思い出があります。本格的に描きはじめてのは、高校に入ってからです。それまでは紙に描いていたのですが、パソコン使って描くデジタルイラストというものであったからは、パソコンを使って描いています。ただ単にイラストを描くということも、その日の心情によって同じものを描いていても見え方が違って同じものは絶対に描くことができないというところに魅かれて今までずっと続けています。

これから学ばなければいけないことが多くありますが、自分の限界を勝手に決めて途中で逃げ出さずに精進していきたいと思っています。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



ゆづりやさいパソコン教室

萩教室 後藤 清子



4月より萩教室に勤務しております後藤清子です。

私は2013年8月まで萩教室に勤務しておりましたが、妊娠出産のため一度退職し、この度復職させて頂くこととなりました。

復職当初は2年半のブランクを取り戻すことに一生懸命でしたが、今は休憩時間に生徒さんとお話するのが楽しみで、心を込めて美味しいコーヒーを淹れています。

日々の出来事はもちろん、趣味の話やお店の話題、お料理のヒントや子育てのアドバイスなど、受講開始時間を忘れてお話しすることもよくあります。

話題豊富な生徒さんとお話しは尽きませんが、パソコンの勉強の方もしっかりサポートいたしますので、今後もしよろしくお願いいたします。



誕生日の決意

〇A事業部 営業

大谷 宏明



一年がとても早く感じておりますが、早いもので生まれてから39年が経とうとしております。

今年の抱負というか決意としては、体重を減らし、体の管理をしっかりすると、決意いたしました。何故かと申しますと、来年は40歳を迎えるわけですがその年に富士山に登頂する目標があり、その為にも体作りが必要だからです。

今年こそは肉体的改造をする年にしますので、好きなお肉やお酒をトコトン控えてその時間を体作りにすると決意しています。



印刷事業部

三浦 恵美子

今年で42歳になります。



若い頃は思い立ったら何でもすぐに行動に移してしまう性格で失敗もたくさんしてきたのですが、年を重ねることに一つ一つの決断に臆病になり、なかなか行動に移せない自分がいました。

8年前タイピックに入社し、最初は半強制的ではありましたが、たくさんの本を頂き、今もたくさん学ばせて頂いています。最近では少しずつですが、自分という姿が客観的に見られるようになってきているように思います。若い時の私、少し前の私、現在の私、そして未来の私…。もう一人の自分が過去を反省し、将来どんな人生を送りたいのかを今の自分に問いながら一つ一つの目標をクリアしていく、そんな感覚を持てるようになったのはきつとここでたくさんのかを学ばせて頂いたお陰だと感謝しております。

42歳の決意！はまだ決まっていないのですが、家族の幸せを思いながら自分がどうあるべきか、もう一人の自分と相談しながら常に自分を進化させていけたらと思っています。

ゆっくりやさしいパソコン教室

ゆっくりやさしいパソコン教室では、パソコン以外の「プリザーブドフラワー」「健康体操」「うちわ作成」「タブレット講座」など沢山の特別講座の他にも、バーベキュー大会やバス旅行など様々な企画を開催して、皆さんに楽しい時間を過ごしていただいています。

今回は、萩教室の坂根と、廿日市教室の今田がご報告いたします。

萩教室のお楽しみ講座♪

萩教室長 坂根彩夏

萩教室では今月からお楽しみの講座がスタートしました。第1弾は『メタリックヤーンでらくらくブローチ講座』！メタリックヤーンとは、キラキラした編み物用の糸で、ブローチはその糸を型に沿って粘着テープに張り付けて形を作成します。メタリックヤーン講座は最終的にペットボトルのキャップを使った帽子やメモスタンドなど徐々に高度なもの

に挑戦していききたいと思います。

そのほかにも来月は暑い季節にぴったりのうちわ作成講座、2・3カ月かけて来年のオリジナルカレンダーを作成する講座も行います。



デジカメ講座

in 呉大和ミュージアム

廿日市教室長 今田直美



パソコン教室の中で、みんなで楽しくおしゃべりする空間とは違い、ワイワイ遠足に行くような感じで呉の大和ミュージアムへ行ってきました。

生徒さん達は、戦艦ヤマトを撮り、私は生徒さんが撮影している様子を撮る。最初に比べると、みんな格好が様になっていてかっこいい！

いつも撮影後に見せてもらう写真は、それぞれ個性があって

皆さんのそれぞれの視点が違う面白さ。こんな場所があったんだと新しい発見があったり、私たちスタッフも楽しませてもらっています。

そんな生徒さんの写真を教室に展示させてもらっています。その作品を見て「デジカメ講座」をつけてみたいという方が増え、今回新たに初心者コースも始めます。パソコンを始め、カメラ等皆さんが楽しんでいる様子をみていると嬉しく思います。

これからも一層楽しんでパソコン教室に通っていただけるよう、よりよい楽しいパソコン教室を作っていきたいと思っています。



パソコンがご縁で仲良くなった仲間とパソコン以外の楽しみを共有することもあり、「教室に行けば何かある！」と思って頂ける楽しいイベントをこれからも私たちスタッフ一同で企画し、皆さんと一緒にますます楽しい教室にしていきたいと思います。

パソコン教室に行けば、日常の生活ではできない体験をすることができ、これからの人生の楽しみが増えること間違いありません。

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会をお待ちしております。

6月中旬に、パソコン教室でのバザーの収益金と、生徒さんと社員からの寄付金を合わせて、南阿蘇村に寄付をさせていただきます。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします